

取引先の事業承継を支援

合併・吸収による顧客流出を防止

「LIXIL住生活ソリューション」

LIXIL住生活ソリューション（東京都江東区）が、事業承継に悩む取引先企業の支援サービスを始める。

取引先である建設メーカーやリフォーム会社などが対象。事業承継のアドバイスや相談を受ける窓口を開設し、セミナーを開いて周知と理解を促していく。全国で約300人のアドバイザーを抱える事業承継センター（東京都港区）が相談の受け皿となる。

顧客流出を防ぐための措置。跡継ぎのいないビルダー経営者をサポート

し、競合他社による吸収合併を防ぐ。すでに取引先のパワールビルダーが吸収された例が報告されているという。

後継者が不在問題は深刻だ。中小企業庁によると、平均引退年齢とされる70歳以上の中小企業・小規模事業の経営者は2025年までに約245万人に増えるという。そのうち法人の30%、個人事業者の65%が廃業すると推測されている。

6月23日に都内で開いたセミナーでは、事業承継センターの内藤博会長が、事業承継の考え方と新税制の詳細を2時間に渡り解説した。45人が参

加した。唐沢建設の唐沢美好社長は群馬県高崎市から訪れた。「今年で70歳。事業承継の準備に入っている」と話した。

「ピュアクリエーション（東京都新宿区）の宮武和子店長は「跡取り息子がいるが、詳しい税制もわからない状況。セミナーで勉強できてよかった」と述べた。

LIXIL住生活ソリューションの事業企画部 拓也チームリーダーは「参加者の反応はよかった。ニーズは高いと感じられた」と話した。

ライフスタイル提案型仲介店舗開設

ハプティックと提携

三好不動産



三好不動産（福岡市）三好修社長（63）

三好不動産（福岡市）は6月28日、リノベーション会社のハプティック（東京都渋谷区）と業務提携し新しい仲介店舗「スマイルプラザ セレクト天神」を福岡市内に開設する。

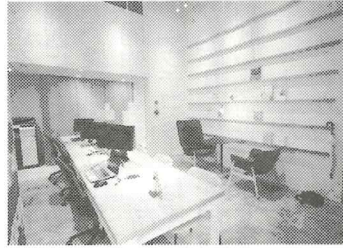
リノベーションやデザイン物件、コンセプト

トを持った個性的な賃貸住宅を提案する。部屋そのものの仕様だけではなく、ライフスタイルを重視した部屋探しができる店舗としてターゲットである若年層に訴求する。従来の賃貸仲介事業とは異なり、集客はSNSに特化する。実際に部屋を見るときは提携しているタクシーを利用して。

オープン当日は店舗の内覧会とSNS拡散イベントを開催。

三好修社長は「この数

▲従来のカワタスターを廃止し、大画面を一瞥に見ながら接客する



年で賃貸仲介市場は大きく変化する。今後、インターネット上での接客が主流になり、実店舗への

来店が減る傾向だ。実店舗の存在価値を考える時代がきている。それには「お客様が希望する部屋をより短い動線で見つける環境」を提供する必要がある。ペットが飼育できるお部屋探しはあの店へ、ハイグレードなお部屋を探したいときはスマイルプラザのこの店へ、

といった店舗別に顧客ターゲットが異なる個性を持った店舗づくりを進めていきたい」と語った。

火災保険を包括契約

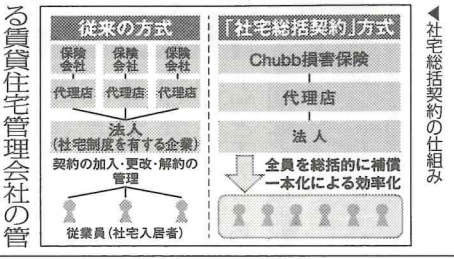
社宅利用法人に提供

Chubb損害保険

損保大手のChubb（チャブ）損害保険（東京都品川区）は1日、借上げ社宅制度を持つ法人を対象にした火災保険の包括契約である「借上社宅総括契約」を開始した。

保険契約者を法人、被保険者を借上げ社宅入居者とする役員および従業員とすることで保険の加入や更新などの保険管理業務が一元化できる。従来は保険料や補償内容、保険期間などが従業員

「今思えば、最初の販売会社は良心的な会社だった。それに気づ



シェアハウス投資検証

第6回 露呈した悪巧み

「なぜ、何も知らせなかったんだ」

11月に建物の2回目の融資が実施されシェアハウスの建

実を知らされたときは完成していなかった。A氏は販売会社に

アハウスを早期に完成させるよう指示。結果、予定より1カ月ほど早

その分、A氏の税金が増えるというが、その増額分は販売会社から振り込まれた。「こんなことしても大丈夫か」と販売会社にも確認したA氏だったが、「スルガ銀行がいい」と言っているから大丈夫」と販売会社から返ってきたので信用して

「今思えば、最初の販売会社は良心的な会社だった。それに気づ

「今思えば、最初の販売会社は良心的な会社だった。それに気づ

「なぜ、何も知らせなかったんだ」

今年1月、都内に住む40代サラリーマンA氏は声を荒らげて販売

ハウスの建

架空のネット口座を

架空のネット口座を

架空のネット口座を

架空のネット口座を

架空のネット口座を